

校長挨拶

当校は平成25年4月1日に小学部、中学部、高等部を設置し、知的障害、肢体不自由、病弱を対象とする総合化された特別支援学校として開校しました。地域に支えられながら開校13年目を迎え、令和7年度は、新入学児童生徒11名が仲間に加わり、全校児童生徒44名（小学部16名、中学部15名、高等部13名）でスタートしました。

当校では、『地域の中で主体的に生活する力を育てる』の教育目標のもと、一人一人の障がいの特性に応じた教育活動を通して、個々のもてる力（個性）を高め、生きる力を育んでいきたいと考えております。

個々のもてる力が発揮されるためには、「児童生徒にとって安心・安全な学校づくり」と、「一人一人の学びの過程を支える支援や指導」が大切であると考えます。安心して自分の思いを伝えることができる環境の中で、興味関心をもち、「やってみたい」と心が動き、試行錯誤を重ねながら、手応えを感じることができる、そんな学びの過程を支えていくことが、主体的な学びにつながり、生きる力を育むことにつながっていくと考えます。困ったときには誰かに相談したり、協力してもらったりできるよう、人との関わりやつながりを通して学ぶ機会も大切にしていきます。

児童生徒のニーズに応じたきめ細やかな支援や指導ができるよう、全職員が「チーム」となり取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、これまでと同様に当校の教育活動に御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

下呂特別支援学校

校長 熊崎 礼子